



馬場敏美

ふたりのレジェンド えんを卒業し 地域へ

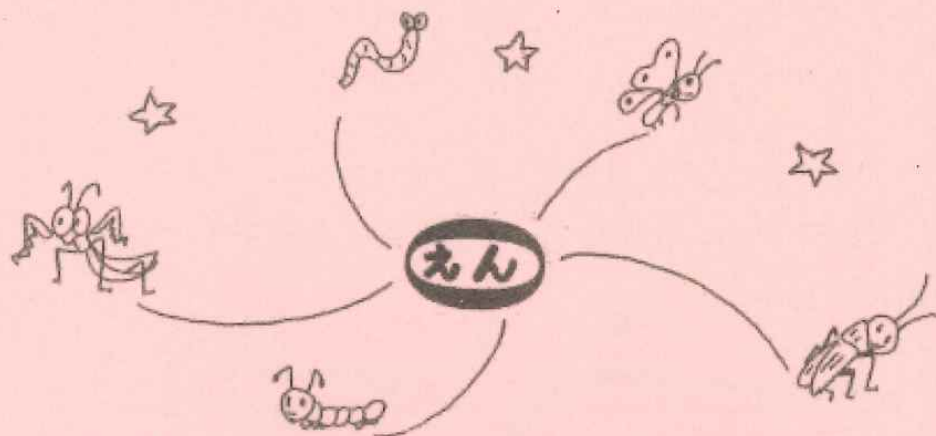


海老沢美智代

子供の時から虫が大好きな私にとって緑に囲まれた、えんの庭は特別でした。毎朝、事務所に上がる階段でも小さな生きものとの出会いがあり、ワクワクしたものでした。でも、この3月で約30年ヘルパーとして働いていたケアサポートえんを退職することになりました。

スタッフの皆さん、虫さん！竹の子さん！鳥たちも本当にありがとう。特に最初からの仲間、小島さん。加藤さん。野口さん。思い出がいっぱいでとても言葉に出来ません。ただあの頃、皆に出会えた事に感謝です。

お先に失礼と言うと怒られそうなので、とりあえずこれからも地域の仲間として
(ケアサポートえん／馬場敏美)



イラスト／馬場敏美

似顔絵／小野実穂

介護保険が始まった2000年に入職し、昨年末に退職いたしました。

当時は、訪問介護と小規模のデイホームを兼務していました。仕事に少し慣れた頃、ある高齢女性のお宅を訪問しました。扉を開けると便臭が部屋に満ち、汚れた布団にその方がくるまっていた。頭の中はまっ白、何とか終わると「ありがとね、でもあんたには荷が重いよ」と、ひとこと。私の未熟さも緊張感も全部わかって、この方は委ねて下さったのだ…その時、肩から力が抜けていくのを感じました。その感じはその後もたびたび私を包んでいます。

「重い荷」は、ボランティアさん、ご近所のおかみさん、支えて下さった先輩方、私よりずっと若い職員、そして利用者みなさん、出会ったたくさんの方々が、私の肩から降りして下さいました。

そして、みなさんからいただいた大切な思い出を両肩に載せて退職します。

ありがとうございました。

(多機能ホームまどか／海老沢美智代)